次代へ向け飛躍する　栃木の

技術交流で 発展に寄与 地域と連携 活動を推進

産学官連携の中核担う

宇都宮大学　地域共生研究開発センター長
鈴木　昇氏

帝京大学　経済学部
地域経済学科講師
溝口　佳宏氏

司会　技術開発や人材育成の点で、知の拠点である大学への期待は非常に大きいと思います。

鈴木（昇）　宇都宮大学では産学官連携・知的財産本部を組織し、地域共生研究開発センターおよび知的財産センターが一体となって産学官連携に取り組んでいます。サテライトオフィスの設置や出張相談の実施など、学内で待つ姿勢から、外に出かけることを心掛けています。産学官連携のためのコーディネーターの増員も考えています。また、光融合技術イノベーションセンターや当センター先端計測分析部門では多くの加工機器や分析機器を開放しており、材料等の分析・解析技術の拠点を目指しています。

県や宇都宮市、県内諸団体の協力のもと、昨年発足したとちぎ未来ネットワーク（FTN）は各個人の自由参加を基本とした交流とグループ研究活動の場です。これを通して、地域の発展に寄与したいと考えます。

溝口　帝京大学宇都宮キャンパスは理工学部でスタートし、その後医療技術学部柔道整復学科、昨年は経済学部地域経済学科が設置されました。総合キャンパスとしての特色を生かした教育・研究、地域連携の取り組みを進めていきます。

理工学部では産業技術センターなどと連携した小型人工衛星「Teikyosat-3」プロジェクトや、科学技術と社会を結びつける「サイエンスらいおん」プロジェクトなどに取り組んでいます。地域経済学科では学科長が観光関係で造詣が深く、地域振興・まちづくりで業績を上げている教員もそろっています。

学生団体ですが、「帝京宇都宮まちづくり研究会」が発足し活動を開始しました。対応可能なニーズが広がっており、自分たちからも積極的に発信していこうと考えます。

資金需要に 積極対応を 経営課題に 最適策提案

期待されるコンサル機能

足利銀行　ビジネスソリューション営業室審議役
矢島　雅照氏

栃木銀行
法人営業部長
早乙女　勝弘氏

司会　産業の活性化には金融機関の支援が不可欠です。

矢島　地域の金融機関に期待されている機能の一つに、中小企業への販路開拓支援があります。その一環として、11月には今年で2回目となる「ものづくり企業展示・商談会2012」を開催しました。発注企業の誘致には県、産業振興センターの協力を得、また、出展企業は当行と県内各信用金庫・信用組合、保証協会などが協力して誘致しました。まさに官民一体となった企業支援となりました。来年1月には「とちぎ食の展示・商談会2013」も開催する予定です。

目下企業の大きな関心事は、来年3月で期限を迎える金融円滑化法への対応です。当行は、法終了後も中小企業等の資金需要に積極対応することと、条件変更等の相談に真摯に対応すること、コンサルティング機能を十分発揮することにつとめてまいります。

早乙女　金融円滑化法の期限到来後も対応方針を変えないというのは当行も同様です。関係金融機関と十分に連携を図りながら、貸し付け条件の変更や円滑な資金供給に努めていきます。融資先の経営課題に応じた最適な解決策を提案し、丁寧に支援していきます。

当行はこれまで、コンサルティング機能の強化・拡充を図ってきました。医療介護、食と農、環境・モノづくりといった業種に精通した人材を育成・配置し、ビジネスマッチングの推進や6次産業化支援など、きめ細かな対応を可能にしています。

販路拡大、売り上げ増加、新商品開発などは永遠の課題ですし、事業承継や海外進出などの問題もあります。産学官をはじめ、外部機関や専門家と連携し、顧客のさまざまなニーズに迅速に対応していきます。

注目企業の事例報告

アール・ティー・シー

受け身の下請けから提案型への転身

社長
櫻井　仙長氏

当社はエレクトロニクス技術をコアに、医療用電子機器、車載・船舶・防衛用電子機器、産業機械用電子制御機器などの市場に、製品開発から試作、モノづくりまでの一貫サービスを提供しています。発注企業からの単なる受託製造にとどまらず、製品企画と開発設計からの提案型の開発体制が特徴です。また、電子防錆装置「ラストアレスター」や住宅用ICカードキーシステムなどの自社オリジナル製品も手がけています。

現在最も注力しているのは医療用電子機器です。医療機器製造の品質規格ISO13485をドイツの認証機関より取得しています。

技術の幅の広さで勝負

当社はある大手家電メーカー1社専属の協力会社としてスタートしました。プラザ合意後の急激な円高により、家電・AVメーカーは海外生産を進め、1社に90%以上依存していた当社は受注が大幅に落ち込みました。事業リスクの分散はきわめて重要な経営課題でした。

電子応用技術は情報機器をはじめ、自動車、医療福祉、産業機械、住宅設備など現代の私たちの社会生活に欠かせません。専門技術の奥深さでは専業大手メーカーにはかなわない分、市場横断的に幅の広い応用技術を融合し勝負するというのが当社の結論です。「一を百集めて百にする」考え方です。

それぞれの業界にはそれぞれの設計思想があります。専業メーカーはその設計思想の枠の中から出られないことが多々あります。一方、当社は多様な分野で経験を重ねてきました。そこで、例えばAV家電で培った「10の工程を半減する」考え方を医療機器にフィードバックする、また、医療機器の考え方を機械分野に提案するといった「テクノロジースパイラル」活動を展開しています。

これによって自社の力が高まると同時に、顧客からの信頼獲得に結びついているのではないかと思っています。

現在、県内の医療系、理工系大学などと、いくつかの共同開発案件にも取り組んでいます。大勢の方の協力を得ながら、受け身の下請け・組み立て会社から、開発・設計を主体とした提案型企業へと業態転換を図っております。

パン・アキモト

持続可能なソーシャルビジネスの構築

社長
秋元　義彦氏

当社のパンの缶詰は、おかげさまで備蓄品として採用が増えています。本日はパンの缶詰を非常食として備えることで、世界の飢餓救済活動に参加できる救缶鳥プロジェクトを紹介します。

パンの缶詰 世界に送る

パンの缶詰の賞味期限は3年です。救缶鳥は2年間備蓄ののち、賞味期限を約1年残して回収され、飢餓に苦しむ国々へ義援物資として届けられます。購入者には、回収の1、2カ月前に支援活動を案内し、賛同いただけた場合、新たな備蓄品の納品時に回収します。購入代金からは下取り分を値引きします。

パンの缶詰は備蓄品・非常食ですので食べずに済むに越したことはありませんが、食べずに捨てられてしまうのは、パン屋としては悔しいです。

一方、世界中の飢餓に苦しむ地域、大災害被災地からは「中古でいいから欲しい」という悲痛な声が届けられています。

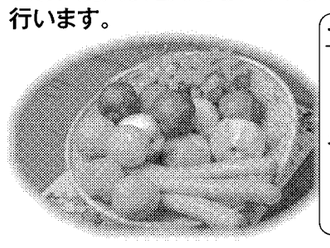
パンの缶詰を始めた時から海外に義援物資として送りたいと考えていましたが、問題は回収方法でした。缶詰の発送はヤマト運輸に頼んでいますので、発送の際に帰り便で回収すればよいのですが、通常の料金を当社が負担することは体力的に無理です。そこで帰り便を割安で使わせて欲しいと交渉しました。事業の社会的な意義ばかりでなく、ヤマト運輸としても利益になることなどを繰り返し訴えて協力を得ることができました。

一方、参加者を増やすため、「世界にパンを届けよう」と呼びかけるのと同時に、義援物資の届け先に送り主のメッセージを添える、受け取った側の写真などを含め結果を報告するといったことで、自分の行為が役立っていることを確認できるようにしています。

企業の存続にはリピーターが必要です。アキモトのパンの缶詰を買った方がいいと思われる空気作りができれば、救缶鳥、ひいては当社も発展できるのではないかと感じています。

昨今、商品やサービスが同じようであれば、世間はソーシャル性の高い方をより高く評価します。ソーシャルビジネスを広めるため、エコポイント同様のソーシャルポイントといった仕組みがあれば、ソーシャルビジネスの後押しになるだろうと考えています。

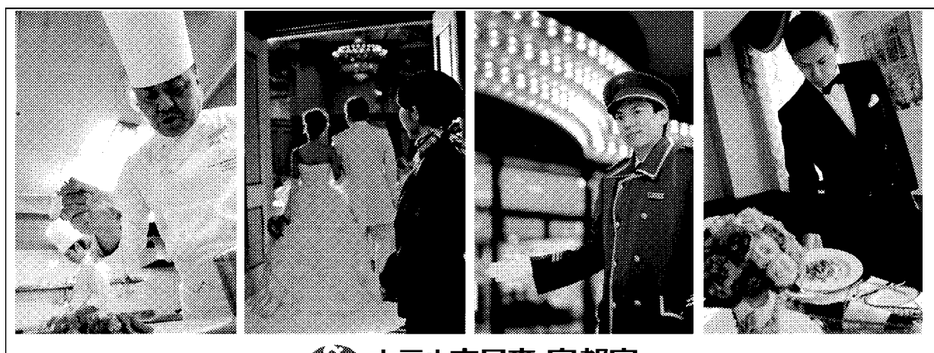
モノづくりが見える 日刊工業新聞
日刊工業新聞栃木県工業会
●お問い合わせ先●
〒320-0033 栃木県宇都宮市本町10-3 TSビル4F
TEL 028-622-0307
FAX 028-622-0308

混入異物分析
製品に混入した異物を、様々な化学機器分析にて解析を行います。

サンプル例
製品混入異物
配管中異物
製品の付着物、着色
その他
放射能測定
食品中の残留農薬分析
製品の組成分析等
ISO/IEC17025認証取得　水道GLP認定取得
平成理研株式会社
〒321-0912
栃木県宇都宮市石井町2856番地3
TEL028-660-1700　FAX028-660-1818
URL:http://www.heiseiriken.co.jp

SOLAR POWER
太陽光発電は、おまかせください。
地域で電気を創り、地域で上手に電気を使う。
そんなご提案をしたいと思っています。
JASDAQ 上場企業です。
藤井産業
栃木県宇都宮市平出工業団地41番地3
0120-157-221
通話無料 平日/午前9時～午後5時(土・日・祝日は除く)

First for You
あなたの一番に
TOCHIGI 栃木銀行

東日本大震災後、大切な社員の為に備えをされましたか?
備蓄をしながら国際貢献できたらいいのになぁ…
ゴミを出さない備えがあるといいのになぁ…
次回購入が安くならないかなぁ…
これを解決するのが…パンの缶詰
救缶鳥プロジェクト
救缶鳥　検索 です!
公益社団法人 日本フィランソロピー協会
2012年
企業フィランソロピー大賞 特別賞受賞
世界にパンを届けよう
救缶鳥 Kyu-Can-Cho プロジェクト
お問い合わせは<㈱パン・アキモト 国際義援事業本部>まで☎0287-65-3558


ゆとりある空間。
非日常的な時間。
行き届いたサービス。
ホテルには最上のおもてなしがあります。
With your style
心を結ぶ至福のひとときを、この場所で。
ホテル東日本 宇都宮
〒320-0013 栃木県宇都宮市上大曽町492-1 TEL028-643-5555(代)　http://www.hotelhigashinihon.com

I.M.C
未来が見える新しい融合
栃木産業人クラブ
《入会お申し込み・お問い合わせは》栃木産業人クラブ事務局
〒320-0033
宇都宮市本町10-3　TSビル4F
(日刊工業新聞社　栃木支局内)
TEL 028-622-0307
FAX 028-622-0308
栃木産業人クラブは1964年4月2日、栃木工業人クラブとして発足以来、栃木県産業界の異業種交流の場として活動して参りました。
〈主な事業活動〉
◎講演会・研究会の開催　◎ゴルフ大会
◎工場・研究所見学会　◎産学官交流会
◎新聞への会員情報掲載　◎他クラブとの交流・懇談会